

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 324

事務事業名	にこにこ畜産経営事業
-------	------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	開 健一	内線	253

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040104	魅力ある農林水産業の振興
施策		畜産業の振興
関連施策		

会計	一般		
款	2	農林水産業費	
項	1	農業費	
目	17	畜産業費	
事業コード	030402	にこにこ畜産経営事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	大村市畜産部会に属する農業者 (JA肥育部及び繁殖部会員、県酪農業協同組合員、養豚振興協議会員、鶏病対策協議会員等)		
意図 対象をどのような状態にしたいか	畜産農家の維持・存続を図るには、安全・安心で良質な畜産物の安定生産による経営改善に資する必要があるため、以下の3つを柱とした基盤強化を推進する。 ①優良素畜の導入(良質な畜産物の安定生産) ②自衛防疫の徹底(安全・安心) ③魅力ある畜産経営による担い手の確保・育成(畜産業の維持・存続)		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	家畜導入、防疫及び研修等にかかる経費補助を行う。(平成29年度事業概要) (導入)優良素畜の導入にかかる経費補助 繁殖牛2,700千円(内長崎県家畜導入事業費補助金200千円) 肥育牛2,500千円 豚 2,000千円 乳用牛1,190千円(内高品質乳用牛導入事業費補助金190千円) (防疫)防疫にかかる消毒や鳥獣等が入り込まないようなネット等の防護材にかかる経費補助 養 鶏1,000千円 (研修等)畜産振興にかかる協議、視察及び研修等の経費補助1,000千円		
事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	大村市農林水産振興事業補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
活動指標	① 大村市畜産部会農家数	計画値			36	35		
		実績値	戸			35		
		達成度	%			97.2%		
活動指標	② 本事業における導入頭数	計画値				93		
		実績値	頭					
		達成度	%					
成果指標	① 大村市畜産部会生産額	計画値	百万円			1,000	1,000	
		実績値				1,130		
	達成度	%			113.0%			
	②	計画値						
実績値								
		達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	0	8,850	10,390	10,390	10,390	0
国庫支出金								
県支出金					390	390	390	
地方債								
その他								
一般財源				8,850	10,000	10,000	10,000	
② 人件費(千円)	0	0	0	3,302	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)				0.45	事業概要 のとおり	事業概要 のとおり	事業概要 のとおり	
時間外勤務(時間)				15				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	0	0	12,152				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	本事業の開始により、優良素畜導入や防疫対策に意欲的に取り組むことで、畜産物の高品質化及び安全・安心な畜産物の安定生産に繋がっている。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	肉用牛をはじめ、畜産物は高値で推移しているが、それに伴う経費も高騰してきており、今後、高品質な畜産物の生産基盤を確立し、安定経営を図るためには、積極的な素畜への投資が課題となっている。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし
	生産コストの上昇や輸入畜産物の増加により、収益性が悪化し、生産体制の維持が困難になっている。このため、畜産農家の維持・存続を図るには、安全・安心で良質な畜産物を安定供給できる生産基盤の強化が早急に必要である。					
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし
	優良素畜の更新及び導入を促進するとともに、防疫体制を強化し、魅力ある(=高採算性)畜産経営を目指すことは、担い手の確保・育成に繋がり、市の主要作物である畜産物の生産体制維持・存続にもなるため、市が関与する妥当性は高い。					
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし
	本事業の推進により競争力を強化し、生産性の向上を図ることは、畜産農家の意欲を高め、良質な畜産物の産地確立による経営の安定に繋がるため、畜産業の維持・存続に向けた取り組みとしての事業成果に有効である。					
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし
	畜産の未来を見据えるには、全畜種(肉用牛、酪農、養豚、養鶏)を統一した組織を設立し、主たる農業者だけでなく、女性や後継者も参画した交流を推進するとともに、畜産農家、関係機関及び行政が一体となって課題克服に向けた連携強化を図る必要があるため、本事業の果たす施策貢献度は高い。					
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし
	担い手不足・高齢化が一層深刻化し、全国的に農家数が減少している中、特に畜産農家の減少率は高く、畜産業の衰退は時代の流れに逆らえないのが現状である。しかし、生産体制を維持し、畜産農家の維持・存続を図るため、本事業の負担割合は、既存の事業と同程度で妥当生があり、全畜種の窓口一本化による事業運営は、包括的で効率的であり、見直しの余地はない。					
【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	拡充
--------	----

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	大村市畜産部会に属する各団体が事業の有効かつ効率的な推進について協議し、実効性のある計画を立て、積極的な運営に取り組むため、平成29年度、①繁殖牛の更なる基盤強化のため、勝乃幸等の優良母牛の導入を促進させ、優良素牛の生産性の向上を図る。②特に優良な素牛導入については、県導入事業費の上乗せを行う。③防疫だけではなく、臭気等の環境対策の徹底を図る。④先進地視察及び飼育管理の向上のための研修等を通して、大村産畜産物の認知度を高め、販路を拡大するための施策について協議する。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	高齢化による畜産の離農者を最小限に抑え、地域一体となって取り組む畜産振興に繋がり、本市畜産業の維持・存続が期待される。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象	今後の方向性	拡充
	終期設定				終期設定		
	意見等				内容	事業の方向性は認めるが、事業費については、財政課の予算査定で精査する。	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。